



# 女性のための 投資フォーラム2019



6326

クボタ

For Earth, For Life  
Kubota



監査役  
荒金 久美氏



常務執行役員  
木村 一尋氏

## 豊かな食料、安全な水、快適な生活環境を世界中の人の手に

### 会社概要

● **食料・水・環境、に関わる幅広い領域で事業を国内で初めて展開**

- ・1890年大阪市浪速区に久保田権四郎が創業水道用鉄管の量産化に成功
- ・2018年12月期の売上1兆8503億円の構成比は機械が82%、水・環境が16%、その他が2%

● **グローバルなビジネス展開**

- ・2018年12月期の海外売上比率69%
- ・日本31%、北米33%、アジア18%、欧州14%、その他4%
- ・120カ国以上の国々でビジネスを展開

### ポジショニング

● **世界の農業機械メーカーとして**

- ・世界の農業機械メーカーの売上規模ランキングで、1位のDeere and Company(アメリカ)、2位のCNH Industrial(オランダ)に続いて、当社は第3位のポジション
- ・Asean地域で高いシェアを誇り、当社トラクタシェアはタイで80%、カンボジア76%、ミャンマー30%、ラオス88%、ベトナム81%、フィリピン77%、インドネシア27%

● **国内農業機械メーカー中、売上規模はダントツのトップ**

- ・売上規模は1兆8503億円と、国内の競合メーカーY社、I社と比較して、圧倒的なトップポジション

● **国内の水道管シェアもトップ**

- ・国内で地中に埋まっている水道管の5割以上を供給

● **売上推移、営業利益率、ROE**

- ・2018年12月期(実績)  
営業利益率10.2%、ROE10.5%といずれも10%を超え、日本の製造メーカーとして高水準
- ・2019年12月期(予想)売上は1兆9700億円で、過去20年間で約倍増を達成見込み
- ・SDGs(Sustainable Development Goals)を羅針盤として、「グローバル・メジャー・ブランド・クボタ」の実現へ向けて、フルスピードで業績拡大達成へ

### 戦略

● **事業領域の拡大**

- ・アジアの稲作農業機械トップクラスメーカーから、世界の総合農業機械トップクラスメーカーへと事業領域を拡大
- ・大型畑作市場へ進出し、欧米大型トラクタ市場でシェア拡大
- ・建設機械事業を農業機械事業と並ぶ柱とする計画
- ・小型に特化した建設機械で業界をリード

● **市場の更なる拡大**

- ・農業機械分野では、国内、中国・東南アジア、北米、欧州ではシェアの更なる上昇を目指す
- ・インド、南米、アフリカを中心に新興国市場を開拓
- ・小型建設機械分野では、中国に続きASEANに注力

● **国内戦略**

- ・ICT、ロボット技術を活用し、スマート農業を推進
- ・自動運転農業機械の普及で、超省力・大規模生産を実現
- ・KSAS(クボタスマートアグリシステム)により、データを農業に活用、農業生産能力を最大限に発揮

### クボタ株へ投資する意味、株主還元

● **ESG投資**

- ・2017年にGPIFが選定した日本株3つのESG指数すべての構成銘柄に採用される
- ・3つのインデックスすべてに採用されている東証一部上場企業は46社のみ
- ・東洋経済のCSR企業ランキング12位
- ・アフリカ農業の機械化、海外での水事業、高いプラント技術など事業そのものが社会貢献となっている

● **業績**

- ・2019年12月期:売上6.5%増、営業利益同5.6%を予想
- ・2019年1~6月第2四半期:  
売上前年同期比7.1%増、営業利益同9.7%増を達成

● **株主還元**

- ・安定的な配当を維持し総還元性向は目標30%を継続
- ・自己株式の取得、消却毎年実施を継続
- ・2018年12月期配当:2円増配の34円 総還元性向32%